

関係各位

今夏の15%の節電、電気代の削減、ソーラーパネルの設置を同時に自己負担ゼロで達成する方策のご提案



**(株) グッドエネジー**

[www.genergy.jp](http://www.genergy.jp)

**2011年**

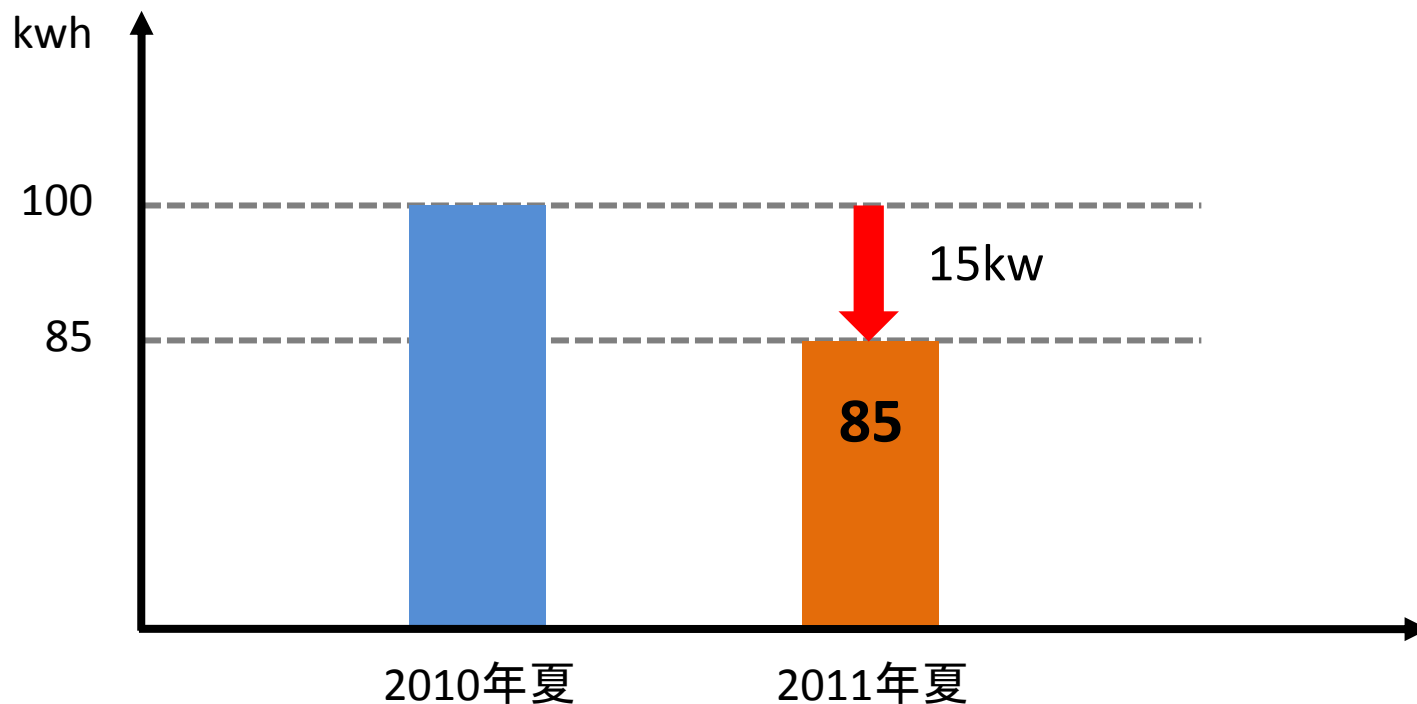
住所: 東京都千代田区神田平河町1番 第3東ビル1005 TEL (03)3863-6778

# 今夏「15%の節電をしなさい」とは正確にはどういう事か

1

昨年夏(7月又は8月)の時の最大消費電力量と比較して今年の夏に電力会社から購入する1時間当りの電力量の最大値を15%削減しなさいということ。

電力会社から購入する1時間当りの電力量の最大値



# どうやったら「15%の節電」が可能になるのか

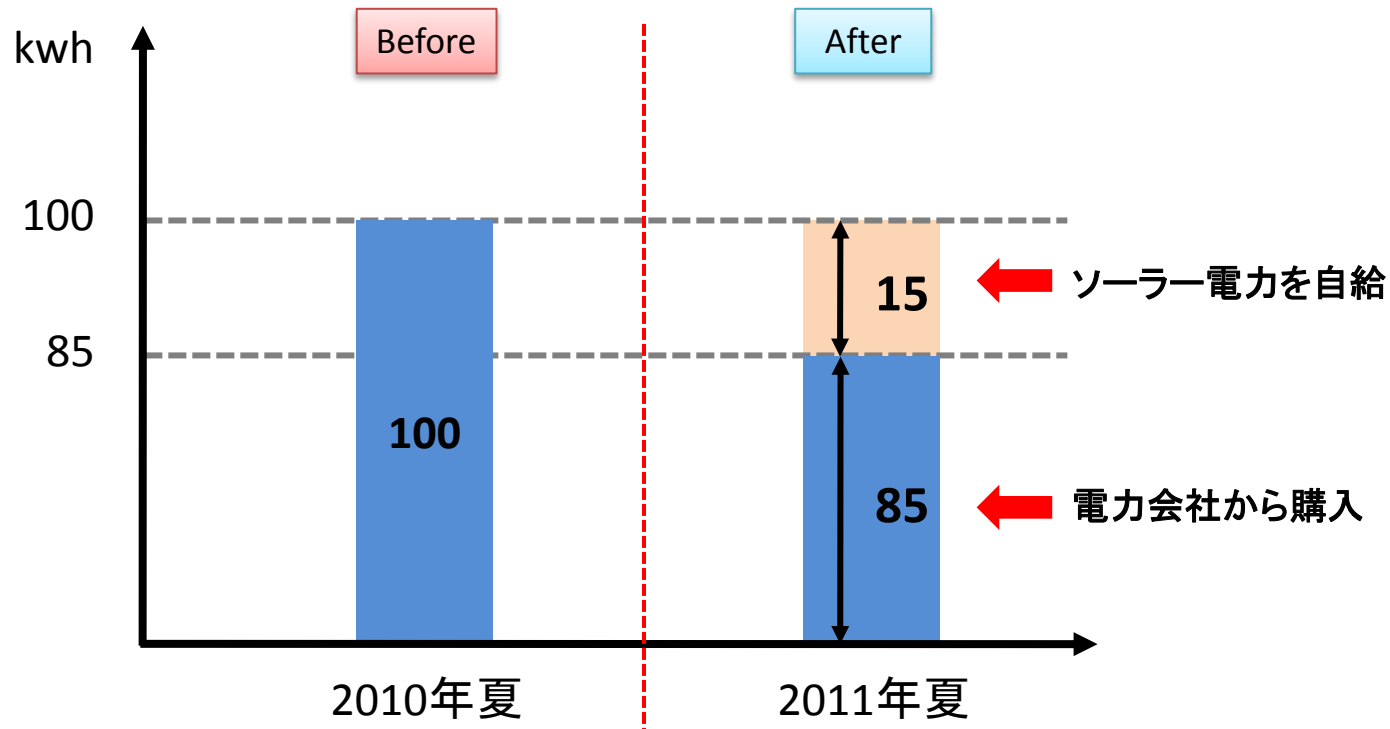
## 対策 1

建物内における電力消費の最大値は減らせなくても、電力会社から購入する量を減らせばよい。



## 解決策:

ソーラーパネルを屋根に設置し、電力会社からの購入を減らした分を自給する。



電力消費量の最大値を記録する日

晴天で暑くてエアコンを全開する日

太陽光発電がフルに発電する日

よって電力消費の最大値を記録する日にはソーラー電力での自給が可能となる。

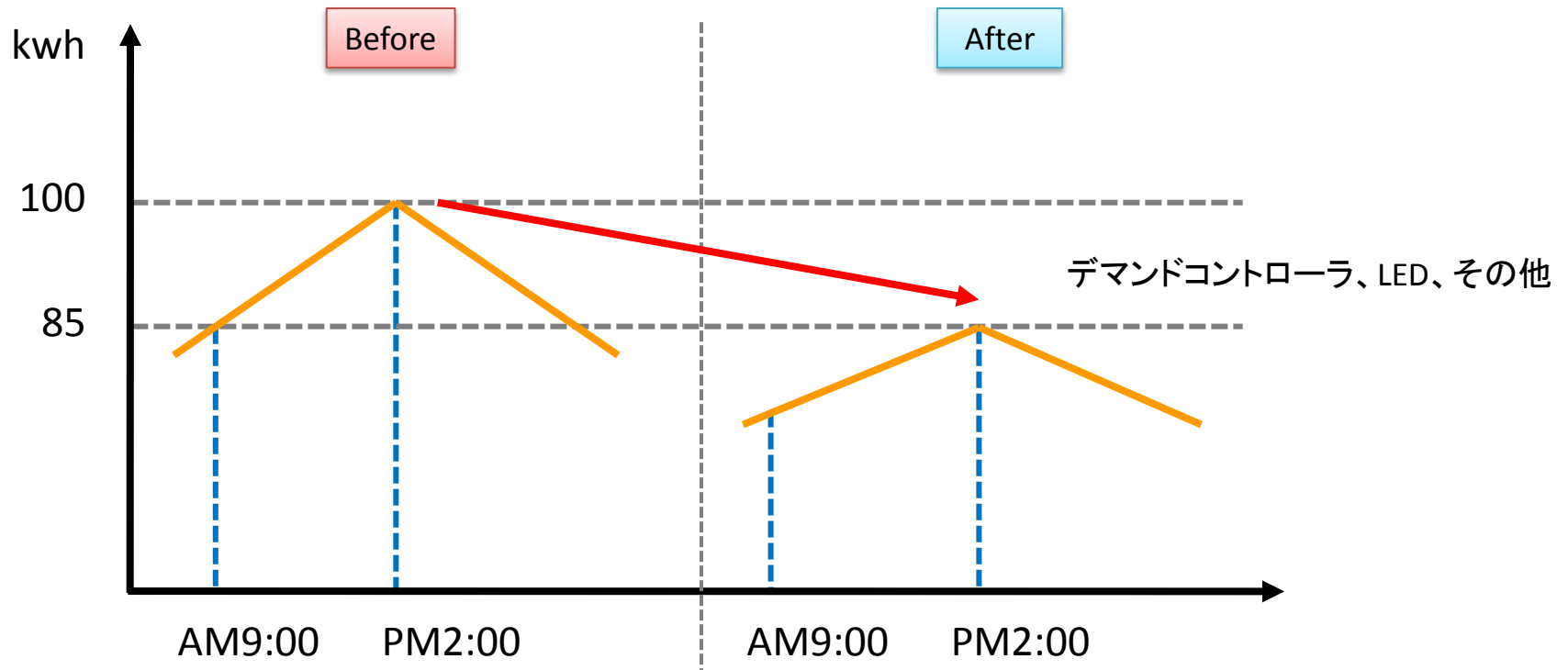
# どうやったら「15%の節電」が可能になるのか

## 対策 2

建物内における電力消費の最大値自体を減らす。

解決策: デマンドコントローラ等<sup>\*1</sup>の各種省エネ設備を導入する。

デマンドコントローラ: 仮にピーク許容量を85kwhに設定した場合、消費電力が85kwhになった場合、例えばエアコンスイッチを暑さを感じない程度に一時的に「オフ」にして数分後にまた「オン」とするといった操作をする事でピークの消費量を少し削減する管理をする装置。

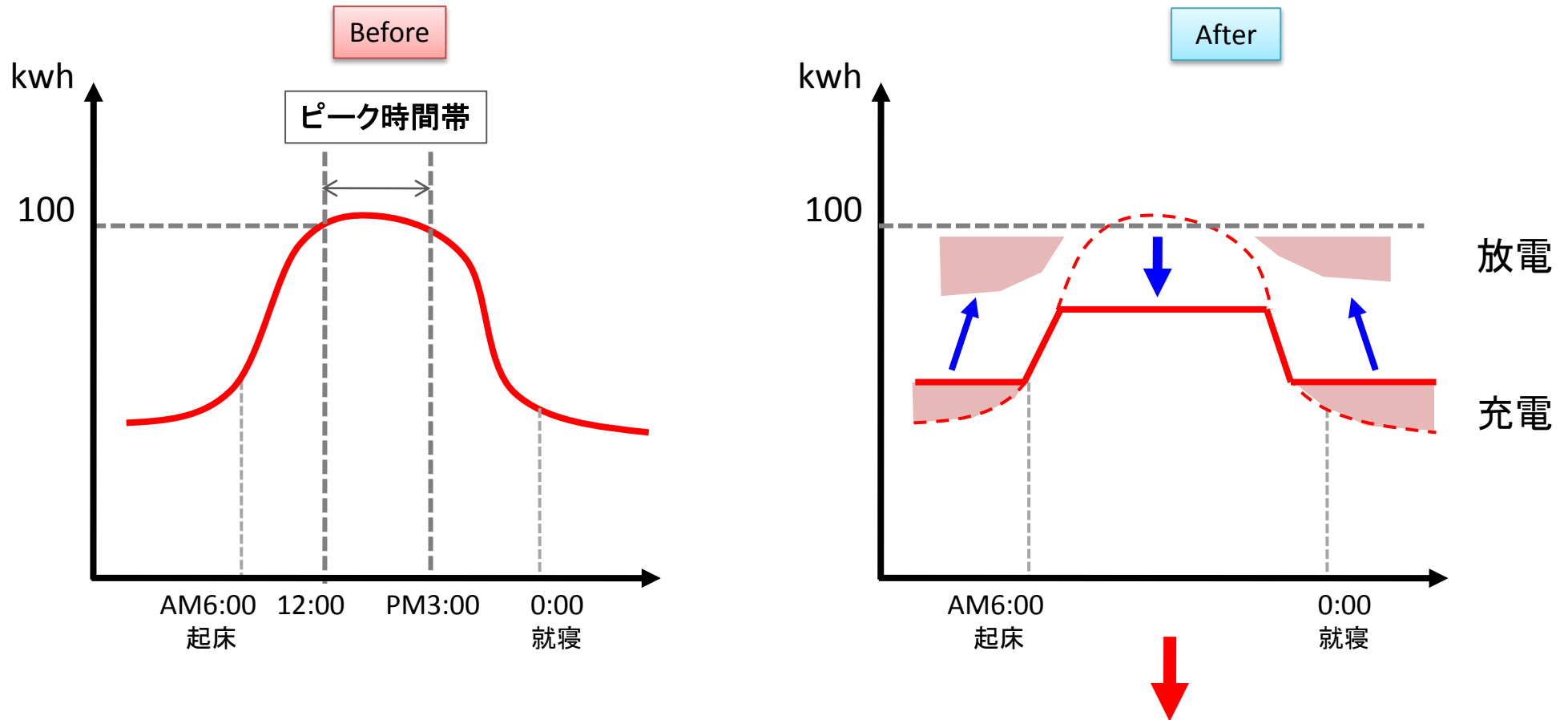


\*1: 14ページ以降参照

# どうやったら「15%の節電」が可能になるのか

## 対策 3

昼に必要となる電力消費量の一部をバッテリーで夜間に蓄電⇒昼に放電して賄う。



昼のピーク時間帯に電力会社から購入する電力量を削減できる

「対策は理解した。しかし、対策を講じるために必要な機器購入の予算がない。」

いえ、心配は無用です！！

機器はすべて当社が調達し、お客様にお貸しいたします。

お客様の初期投資  
ゼロ円！！

サービス料金を毎月お支払い下さい。

# 弊社サービスのご利用料はお客様の建物の調査後にご提案いたします。

対策1      ソーラーパネルの場合      →      ご使用量に応じた [ソーラー電力料金] をお支払いください。

[ソーラー電力料金] = [ソーラー電力使用料 (kwh)] × [ソーラー電力単価]

[ソーラー電力単価]

- ① ￥22から～￥37/kwh の間です。
- ② 建物によって、時間帯によって、季節によって料金が異なります。
- ③ お客様の電力消費パターン、屋根の形状などの調査の後にご提案いたします。

対策2      各種の省エネ機器の場合      →      月額固定の使用料をお支払いください。

・電気使用量の省エネ削減幅について提携先ESCO会社が**一定の削減幅保証**をいたします。

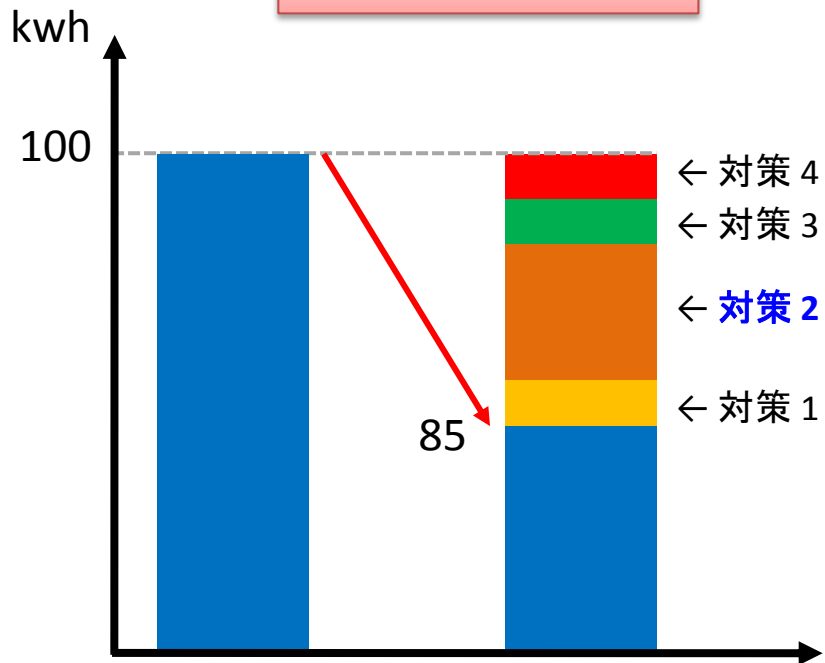
対策3      バッテリー導入の場合      →      月々のリース料をお支払い下さい。

・昼夜の電気消費パターンや消費量により有効な場合とそうでない場合がございます。

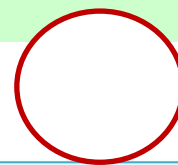
# 対策のポイント



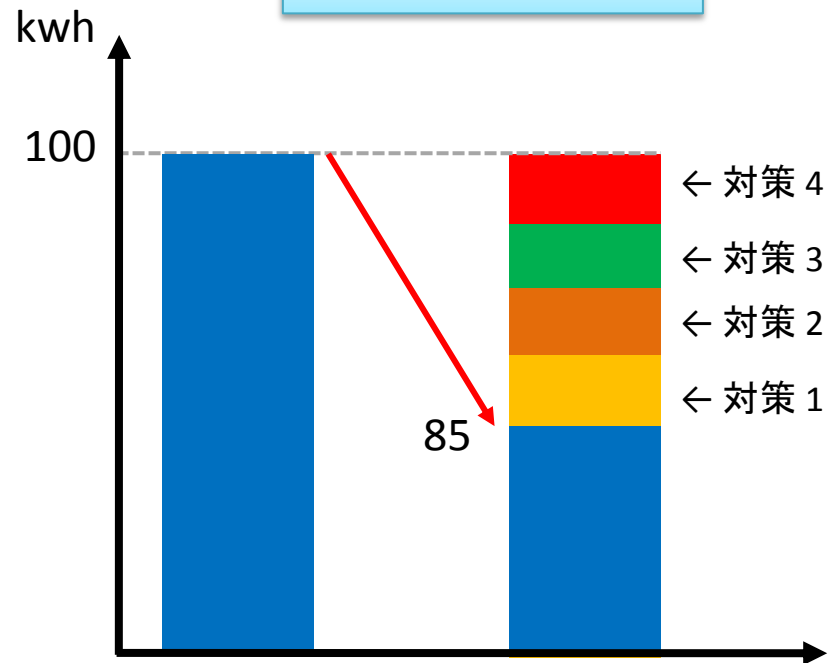
良くない節電方法



1つの対策のみ大きく頼る節電方法



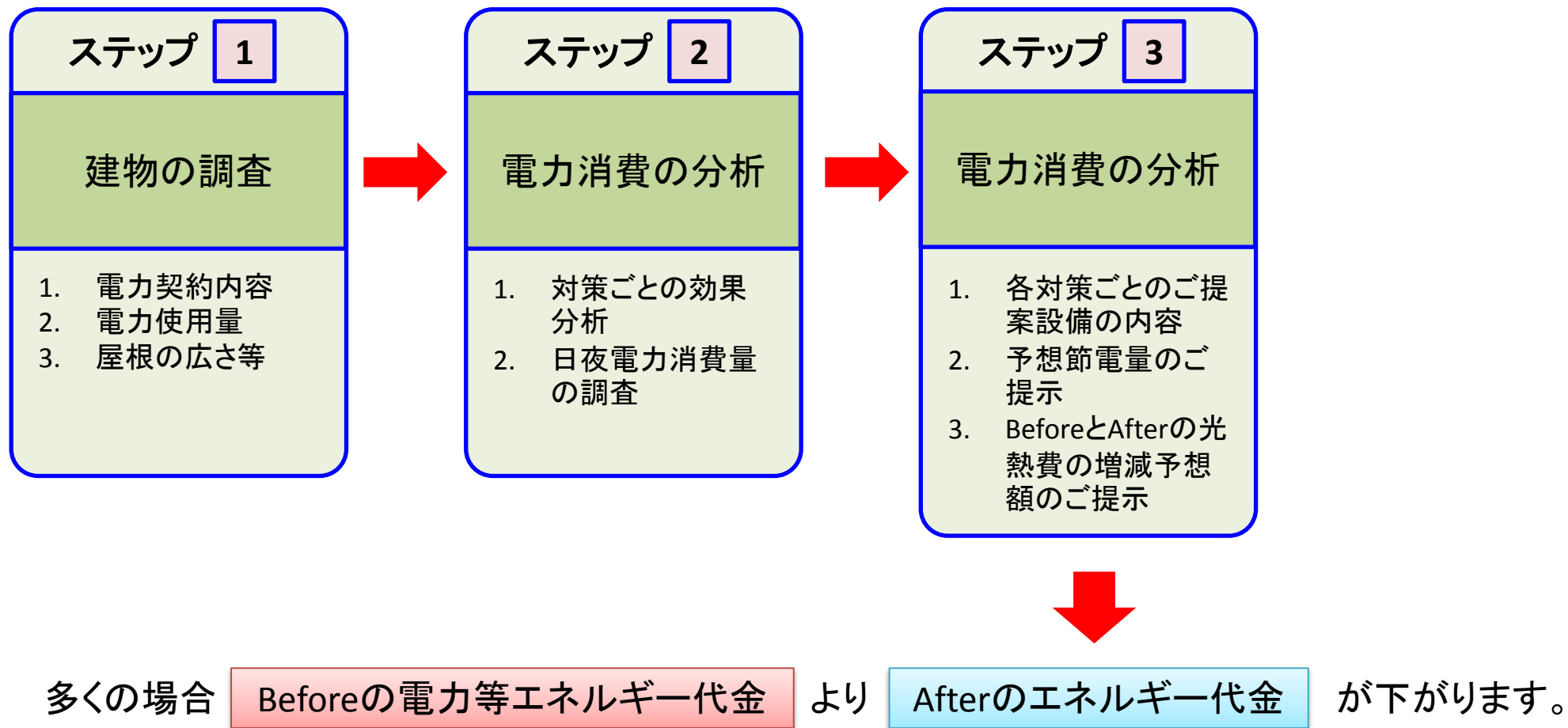
良い節電方法



各種の対策をバランスよく組み合わせる節電方法

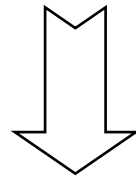


# 対策の手順



(以上)

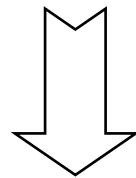
省エネ・省コストの最大ターゲットである**空調機**をコントロール



何をするの？

その1・・・空調機の使用電力を監視し自動制御を行います。

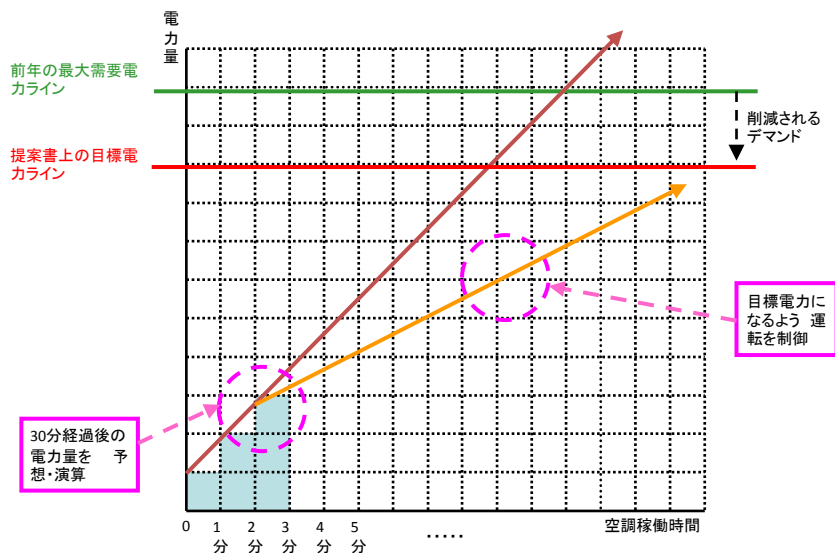
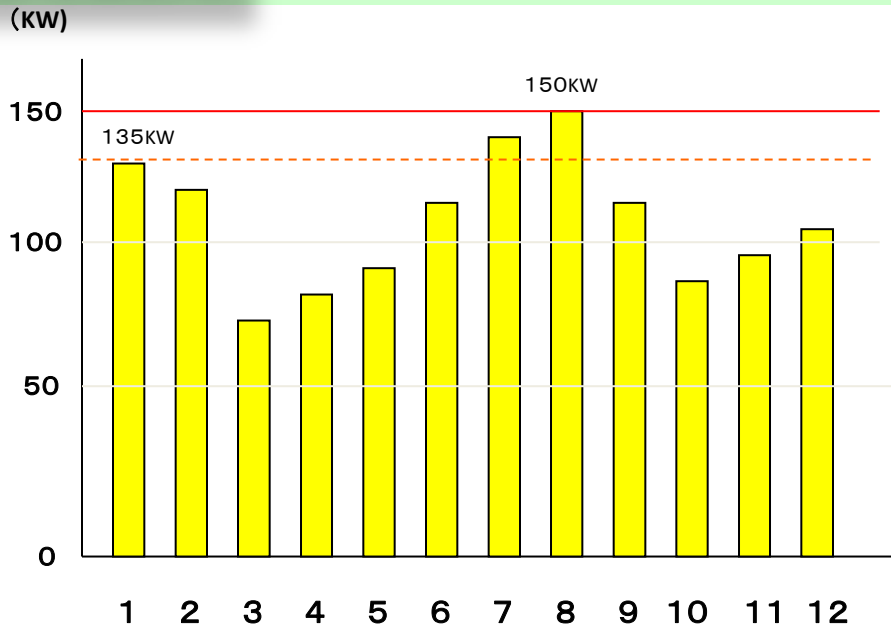
その2・・・空調機の稼働を制御する事でデマンドを抑えます。



効果は？

**電気料金〔基本料金〕・電気使用料金〔従量料金〕の削減が可能。**

・本システムは電力会社が推奨しており、機器を導入した翌月から契約電力(基本料金)の変更が可能です。



## デマンドコントロールシステムとは

通年の電力ピーク値をカットすることにより、**月々の基本料金を下げ、電気料金を削減**するものです。

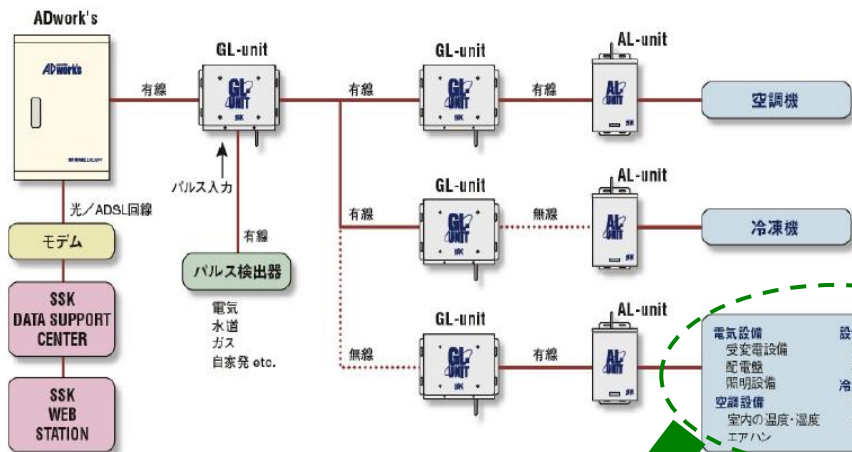
## 電気料金の仕組み

電気料金は、基本料金・使用電力量料金で構成されております。このうち基本料金となる契約電力とは、電力会社が設置するデマンド計により、30分毎に年間17,520回計測しており、その中で最も大きい値が契約電力となります。

契約電力の最大値は、通常空調設備の使用時期である7～8月の13時～15時と言われております。そこで、このピークを抑える事により契約電力を大幅な削減につながります。

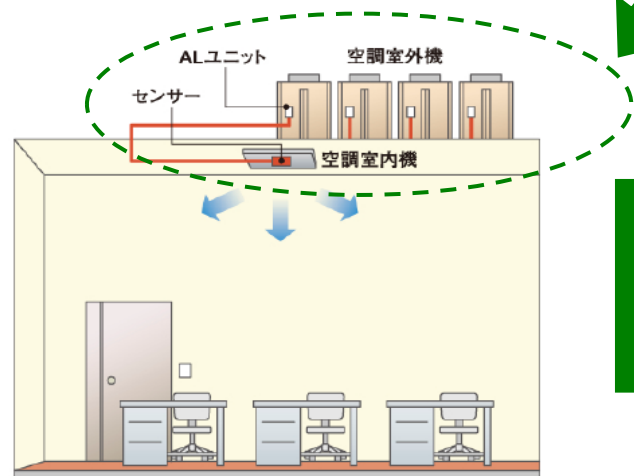
## どのようにしてピークを抑えるのか？

空調設備などの電力負荷をコントロールしてデマンドを一定値以下に抑えることにより、**基本料金を下げ、電気料金の削減**につながります。



## 運転制御の方法

- ①空調機1台毎にALユニットを1台ずつ取り付けます
- ②圧縮機の運転を間欠運転させます
- ③制御率は1%刻みで調整可能です



## 仕組み

3分間の短いサイクルで空調機を順次停止するため、人の感覚では通常気づかない範囲(0.8℃~1.4℃)でコントロールします。著しい環境の変化はありません。又、空調機個々の使用電力量を常時把握していますので、空調機が運転状態であれば、設定された削減率に基づき確実に使用量の削減が可能です。